

市民文芸

短歌

阿南市春季短歌誌上大会選

市長賞

スカーフを一気にはずし春風を胸に這わせば
乳房の目覚む
西條 悦子

文化振興課長賞

「呼び出し」は小さく首を振りながら無観客
席の広きにさけぶ
井上 正恵

大会長賞

恐れつつ受けし大腸内視鏡キウイの種が一粒
写る
入谷五十鈴

互選賞一位

もう今年で最後にしようとおい二人土を撫で
つつじやが芋植える
湯浅かや子

互選賞二位

今晚のさばの塩焼き「うまい」とて鼻唄の夫
鍋をも洗ふ
井上 絹子

互選賞三位

一斉に笑いころげること見ゆる菜の花の黄に
励まされいる
水口 明美

特選

ポールの音を待ちうける児にこの列車素通りを
する夕陽を残し
小西 千恵

特選

魔よけにと背に鐘馗様描かれたるコート吊る
され歌会始まる
棚野 久子

俳句

阿南市俳句連合会選

農道をかける幼に初夏の風

老鶯や山の入口山の奥

母の日や野良着姿の母憶う

牡丹咲く庭の風神つれて出よ

アマビエの花火揚がりて星一つ

母の日や孫の写真も荷の中に

友留守の車庫に吊り来し春キャベツ

葉桜やステイホームの声虚し

山並の型は寝釈迦竹の秋

幸せに生きるよるこび夏兆す

片山 幸美

陶久 晴義

佐野 極童

中野 郁

山田 百代

宮崎三千代

近藤 まい

藤井 一行

横井 知昭

多田紀久代

川柳

阿南川柳会 田上鶴子選

モデル見て私だつてとダイエット

八十路過ぎじわじわ文字が崩れだす

聞き上手じわじわ本音あぶりだす

ウイルス禍笑いの葉下さいな

目覚めたら五体確かめ立ち上がる

動くのはじわじわ食べるのは元氣

野口 吾朗

多田紀久代

原 公美子

鈴木レイ子

西田 修身

田上 鶴子

一般応募

スマホ見る子等の指先減る会話

ゆつくりと母似になってゆく齡

七十代演歌こころに泌みる夜

島尾美津子

武田 敏子

仁井 信子

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

梅天閑詠

茅檐終日雨聲深

門外秧田萬里霖

閑坐無聊人寂寞

閉書垂暮只孤斟

茅檐終日 雨声深し

門外の秧田 万里の霖

閑坐無聊 人寂寞

書を閉じて 垂暮只だ孤り斟む

谷口田鶴子

画家「阿南ふるさと大使」の講演を聴く

遽然二豎却排時

一轉身爲彩管師

宛似疾風知勁草

畫中有曲有文辭

遽然の二豎 却排の時

一転 身は彩管の師爲り

宛ら疾風に勁草を知るが似く

画中に曲有り文辞有り

吉形 和恵

浅間山鬼押出園観音堂

火山鳴動衆人傷

焦熱溶岩村巷亡

劫後百年多賽客

大悲菩薩紫煙堂

火山鳴動 衆人傷つき

焦熱の溶岩 村巷亡ぶ

劫後百年 賽客多し

大悲の菩薩 紫煙の堂

高橋 静雄

